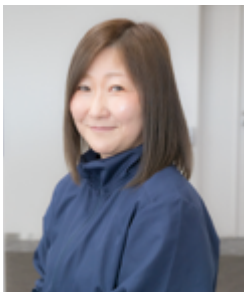
みんなのヒロカ話ワ

VOL,5



広川町教育委員会
事務局生涯学習係

岩本沙織さん

広川町で活躍する人をリレー形式で紹介するコーナー。第5回は、元実業団のヨット選手という異色の経歴を持ち、現在は広川町役場で働く岩本さんです。

海から始まった挑戦の日々、そして新たなステージ・広川町へ

日本一のヨット部から実業団、そして世界へ

福岡市で海を間近に見て育った岩本さんは、高校でヨット部に入部。全国制覇を成し遂げる強豪校、さらに大学でも日本一を経験しました。卒業後は就職先（ベネッセ）でのヨット部立ち上げに関わり、実業団選手としてオリンピック出場を目指し、国内外で活躍するなど競技に打ち込みました。

10年のブランクを経て再び海へ

結婚・出産を経て競技を離れ、夫の転職を機に広川町へ移住。「役場や銀行がコンパクトにまとまっていて暮らしやすい」と感じた一方、子育てをする中で、子育て支援の大切さを感じ、町の取り組みにも関心を寄せてきました。10年間の育児専念期間を経て、大学コーチの誘いをきっかけに現役復帰。役場入庁後も国体へ5度出場するなど、第一線で活躍を続けていました。

競技で培ったチームワークを町の未来へ

2人乗りヨットで培った「相手の意図をくみ取り、息を合わせる力」は、現在の役場での仕事にも生きているといいます。「仕事を通じて知った広川町の魅力や生産者の想いを地元の子どもたちに伝え、一度町を出ても『また帰ってきたい』と思ってもらえる町にしたいです。スポーツを通じた町民の健康づくりにも力を注ぎたい」と笑顔で語ってくれました。

次回はどんな人にバトンが渡るのでしょうか。お楽しみに！

広川文芸

ひろかわ短歌会



散歩道に稲穂みのりて黄金に　畦道染める朱の彼岸花　姫野　洋子

秋の猫キャットウォークの尾を上げる尻尾も機嫌も上がるよ上がる　溝田　幸

朝早くはぐれ鴉は連れを呼ぶ「ここにおいでよ甘柿あるよ」　蓮子　住雄

曼殊沙華波打ってゐるけふの胸いつも野菊が住むはずなのに　青木佳代子

庭先の紅葉がぽっとほほ染めて秋のおとずれ教えてくれた　野田　章子

畑仕事終えて夕陽を背にすれば長きわが影朱く縁取る　山下　聖子

つかの間の雲より出でし満月をこころ鏡に来しかた映す　結束　節子

ネクタイは戸棚の奥に眠ってる　現役しのぶ軌跡の証し　原　徹

重なりて続く茶畑きらきらとみどりの光る八女、神無月　高橋　和子

カサカサとくぬぎ林を踏みゆきて見上ぐれば梢を鰯雲ゆく　鹿田　恵

後のこと知っちゃいないさどうなろと　そう思えれば憂いも消えゆく　山崎　信

他人（ひと）はひと 己はおのれ　久しぶりの満面笑顔の彼女輝く　外山ゆう子

街路樹に見上ぐるほどの花燃えて知りたるカンナの域を超えたり　北川　順子

敬老の祝いのたびに友は減り我が身思えばすきま風吹く　有吉　冴子

畑隅に墓処のごとく吹き溜まるブナの枯れ葉と吐けぬ言の葉　山下　整子

ふるさと
再発見
広川町郷土史研究会

広川町にある巨樹・珍樹　その28

コナラ（ブナ科）

ブナ科に属する樹木は仲間が多く、その実は総称して、ドングリと呼ばれています。今回紹介するコナラもその一つで、豊かな植生が広がる植物の宝庫・グリートパークで確認されたものです。

コナラは、春に開花・受粉し、その年の秋に実が成熟する一年生です。実は円筒状で、柱頭の先端は3～4つに裂けています。

法量は、
幹周　1・13メートル
樹高　約20メートル
を測ります。

この木は、二次林（山火事や伐採などで、原生植生が破壊された後に生じる森林のこと）の優占種として、クヌギと並ぶものでもあります。同じく、シイタケの原木栽培の榾木（ほだぎ）として多用される木でもあります（広報ヒロカワ4月号、広川町にある巨樹・珍樹その20を参照）。しかし、探してみると意外とないもので、著者が調べた限りでは、石人山古墳にある
幹周　2・60メートル
樹高　約20メートル
樹齢推定　100年
を測る木と、もう一本
幹周　1・80メートル
を測る木だけのようです。

グリートパークにある木は、樹幹に少し平滑さが感じられるのに対し、石人山古墳にある木はゴツゴツとしています。おそらく樹齢などの違いによるものでしょう。

コナラの葉の特徴としては、葉縁部にやや深めの切れ込みと、鋭いトゲが見られます。


▲グリートパーク内のコナラ


▲コナラ（拡大写真）


▲石人山古墳のコナラ

広川町古墳資料館だより

今年は、石人山古墳にある石人が国指定重要文化財になってちょうど50年になります。古墳資料館では、この石人に関する企画展を1月末まで開催しています。

師走といえば大掃除の時期です。皆さんも掃除をする中で、戦争資料や古い道具など、広川町の歴史を物語るものを見つけたら、古墳資料館にご連絡ください。広川町の歴史文化に関わる重要なものは、資料館資料として収蔵し活用します。


▲石人山古墳の石人

子育て支援センター「ハグハグ」



親子でハグハグ！　イベントの様子

支援講座（栄養）



毎月１回開催している栄養講座。今回は、れんこんしらすピザ、しいたけクッキーを作りました。保護者同士で協力しながら楽しくクッキング。最後は、親子でおいしくいただきました。

サーキットであそぼう



忍者になりきって、一本橋渡りや踏むと音が出る不思議な道渡り、トンネルくぐりやトランポリンジャンプに挑戦！　親子で力を合わせ、一緒に楽しい時間を過ごしました。

利用者の声（中村利奈さん）

長女が生まれて６カ月ごろから通っています。おもちゃや広いスペースがあるほか、子どもが喜ぶイベントや子育て中のパパママ向けのイベントもあり、すてきな居場所です。SNS だけではわからないことがたくさん学べるところです。



ハロウィン制作



花紙を丸めておばけにペタペタと貼り付け、ふわふわなおばけバッグを作りました。
最後に、バッグを持って図書館のフォトスポットでハイチーズ！

子どもの急な病気に困ったら

休日・夜間に子どもが病気になったとき、
小児科医師・看護師へ相談できます。

小児救急電話相談　☎＃ 8000

子育て支援センター ハグハグ

町民交流センター「いこっと」１階
開館 / ㈪～㈮・㈰ 9:30 ～ 16:00
閉館 / ㈯・㈷（㈫は対象者のみ）
問子ども課こどもまんなか係
☎ 0943-32-1194

こども まんなか PROJECT

イベントや健診の情報は QR コードから確認できます！

★イベント情報★　★乳幼児健診★